

ミツシャ・マイスキー

チェロ・リサイタル

Mischa Maisky

巨匠への王道を歩む名チェリスト

バッハ / 無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007
J.S.Bach : Suite für Violoncello allein Nr.1 BWV1007

シューベルト / アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821
F.Schubert : Sonate für Arpeggione und Klavier D.821

シューマン / 民謡風の5つの小品 op.102
R.Schumann : 5 Stücke im Volkston op.102

ブリテン / チェロ・ソナタ ハ長調 op.65
B.Britten : Sonata for cello and piano op.65

✧ リリー・マイスキー (ピアノ) ✧

2013 **12/8** 日 PM 2:00

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥9,000 A ¥8,000 B ¥7,000
C ¥6,000 D ¥5,000 学生 ¥2,000 (税込)

学生券 ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

■プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催 / 中京テレビ放送 企画・運営 / 中京テレビ事業

お問合せ 中京テレビ事業 ☎052-957-3333
お申込み

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM10:00~PM5:00 / 土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索

座席表からお席をお選びいただけます!

5/25(土) 発売開始!
AM10:00~

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットびあ (Pコード 196-760)	0570-02-9999
ローソンチケット (Lコード 48159)	0570-084-004
愛知芸術文化センターPG	052-972-0430
栄プレチケ92	052-953-0777
e+ (イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282
	他 有名プレイガイド

チケット販売所



まさにもスター・チェロ！
初心者からコアなファンまでをも
鷲掴みにする究極のプログラム！

ロストロポーヴィチとピアティゴルスキーの両巨匠に師事した、世界でただ一人のチェリスト、ミッシャ・マイスキー。当時ロストロポーヴィチに、高く評価されたマイスキーは、師と同じく巨匠への王道を歩み続けています。今回彼が選んだプログラムは、深い尊敬を捧げているパッサの無伴奏チェロ組曲第1番と、チェロ・ソナタの名曲。聴く者の心を捉えて離さない、心を揺さぶる渾身の演奏を聴かせます。

✧ ミッシャ・マイスキー (チェロ)

Mischa Maisky, violoncello

ムスティスラフ・ロストロポーヴィチとグレゴール・ピアティゴルスキー両巨匠に師事した、世界でただ一人のチェリスト。師ロストロポーヴィチは、若きマイスキーを評してこのように述べている……

“若い世代のチェリストの中でも抜きん出た才能の持ち主だ。詩情とこの上ない繊細さ、そしてすばらしい音楽性と見事な技巧が彼の演奏を作り上げている。”

ラトヴィア共和国生まれ。ロシアで学び、のちにイスラエルに移住。以後、ロンドン、パリ、ベルリン、ウィーン、ニューヨーク、東京をはじめ世界の主要コンサートホールで演奏活動を展開、熱狂的な支持を受け続けている。

マイスキーは、自らを「世界人」と位置づける。「イタリア製のチェロにオーストリアとドイツ製の弦を張り、フランスとドイツの弓で弾いています。娘はフランスで生まれ、長男はベルギーで、次男はイタリアで、末っ子はスイスで生まれました。私は日本の車を運転し、スイスの時計をはめて、インドのネックレスをしています。そして人々がクラシック音楽を評価し、楽しんでくれるところではどこでも、そこで家にいるようにくつろぐことができます。」

ドイツ・グラモフォンの専属アーティストとして、この25年の間にマイスキーは30を超える録音をリリース。そこでの共演もウィーン・フィル、ベルリン・フィルをはじめロンドン響、イスラエル・フィル、パリ管、オルフェウス室内管、ヨーロッパ室内管など多岐に渡る。

彼の輝かしいキャリアの中でもハイライトの一つは、2000年の活動である。パッサ・プログラムで実に100以上の演奏会を世界で展開、さらにパッサへの深い尊敬は、無伴奏組曲の3度目のレコーディングという形に結実している。マイスキーの録音は世界各地で高い評価を得ており、これまでに日本のレコード・アカデミー賞を5回、エコー・ドイツ・シャルブラッテン賞を3回、パリのディスク・グランプリ賞、ディアパソン・ドール賞の各賞を受賞、グラミー賞にもノミネートされている。

世界を代表するチェリスト、また数々の主要国際音楽祭の常連でもあるマイスキーは、これまでにバーンスタイン、デュトワ、ジュリーニ、マゼール、メータ、ムーティ、レヴァイン、アッシュケナージ、シノーポリ、バレンボイムといった名指揮者たち、さらにアルゲリッチ、ルプー、フレイレ、キーシン、ラン・ラン、P.ゼルキン、クレメル、バシメット、レーピン、ヴェンゲーロフ、ジョシュア・ベル、ラクリン、ジャーニーヌ・ヤンセンほか世界のトップ・アーティストらと共演している。

✧ リリー・マイスキー (ピアノ)

Lily Maisky, piano

1987年パリに生まれ、ブリュッセルで育つ。4歳よりリル・ティエンポについてピアノを始め、ハギト・カーベル、オルガ・モギレフスキー、イラナ・ティヴィッツ、アラン・ヴァイスらにも師事。2001年から2004年までのパーセル音楽学校在学中には、クラシックのほかジャズ・ピアノも学ぶ。これまでにマルタ・アルゲリッチ、ドミトリー・バシキーロフ、ジョゼフ・カリクシュタイン、エフゲニー・モギレフスキー、パーヴェル・ギリロフ、ヴィタリー・マルグリシ、オレグ・マイセンベルク、マリエル・ラベックほか著名アーティストのマスタークラスや指導を受ける。また、ヴェルビエ音楽祭アカデミーやオックスフォード・フィロムジカ・ピアノ講習会などにも参加している。

1997年、カーネギーホールの熱帯森林保護団体チャリティ・ガラ・コンサートでデビュー。このときの演奏はレコーディングもリリースされている。録音ではこのほかにも、ドイツ・グラモフォンで父ミッシャ・マイスキーの最近の録音に共演しており、EMIからは「マルタ・アルゲリッチ・プロジェクト」の室内楽ライブが出ている。ヨーロッパおよびアジア各国のラジオおよびテレビにも度々登場。コンサート活動も、ヨーロッパから日本まで広い地域で展開し、協奏曲では、これまでにザンデルリング、アルブレヒト、オリヴィエリ=モンローほかの指揮で演奏している。音楽祭では、ヴェルビエ、マルタ・アルゲリッチ・プロジェクト(ルガーノ)、フライブルク、フィレンツェ五月祭、フランツ・リスト(オーストリア)、ジュリアン・ラクリンと仲間たち(ダブルロヴニク)、ベル・エア・コングレス(フランス)、シュレスヴィヒ=ホルシュタインなどから招かれており、またイギリス室内管弦楽団が主催するミュージック・クルーズにも参加している。ソロ、室内楽の両分野で活躍するリリーは、これまでにロイヤル・フェスティヴァル・ホール(ロンドン)、コンツェルトハウス(ウィーン)、プリンツレグンテン劇場(ミュンヘン)、ライスハレ(ハンブルク)、フェニーチェ歌劇場(ヴェネツィア)、ベートーヴェンハレ(ボン)、サントリーホール、オリンピック劇場(ローマ)、モスクワ音楽院、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー、カーネギーホール、バッキンガム宮殿ほかに登場。

室内楽では父のミッシャと定期的にデュオを組んでいるほか、ジュリアン・ラクリン、ジャーニーヌ・ヤンセン、ルノー・カブソン、セルゲイ・クルイロフ、ニコラ・アンゲリッシュ、フランク・ブラレイ、ジェラルド・コセ、シャンタル・ジュイエ、ドラ・シュヴァルツベルク、さらにアリッサ・マルグリシ、フラチャ・アヴァネシヤン、ゲザ・ホッス=レゴツキといった新進ヴァイオリニストたちとも共演している。